第1回 清瀬市「夢空間」保存活用検討委員会 会議録

1 開催日時

令和6年12月9日（月）午後3時～午後4時15分

2 場所

清瀬市役所3階 会見室

3 会議内容

（1）開会

（2）挨拶

経営政策部長が挨拶を行った。

（3）資料確認並びに検討委員会の趣旨及び進め方について

事務局から配布資料の確認と検討委員会の趣旨及び進め方について説明を行った。

（4）委員の自己紹介

各委員が自己紹介を行った。

（5）委員長・副委員長の選任

推薦により高嶋委員が委員長に決まった。

高嶋委員長からの指名により園部委員が副委員長に決まった。

（6）委員会の公開について

事務局から委員会の公開について説明を行った。

委員の総意により本委員会が公開となることが決まった。

（7）整備概要及びサウンディング調査の結果概要について

事務局から以下の内容について説明を行った。

- ・整備概要について
- ・公園整備の全体平面図について
- ・夢空間車両について
- ・サウンディング調査の結果概要について

(8) 意見交換

《以下委員からの意見》

- ・夢空間車両の保存と事業活用という二つの側面について意見交換をしていきたい。
- ・一つの事業者にかかせるのは採算的にも難しい。市から積極的に営業をかけ、多様なメニューを用意して提供することも検討していきたい。
- ・指定管理制度が疲弊している現状がある。複合的な業務を担って、事業者が自分たちで稼げる体制ができるように設定した公募要領にしてはどうか。
- ・6者からいただいたサウンディング内容をもう少し具体的に聞きたい。例えば、レストランやカフェ事業について、夢空間をどう活用してカフェ事業を行うのか、具体的な方法を知りたいと思った。
- ・様々な事業を組み合わせた場合に、どのような事業主体で経済的な合理性をもって進めていけるのか、今後考えていきたいと思う。
- ・「保存」ということを念頭において考えていきたい。他の自治体で、車両を保存しているつもりが、車両内のカフェ事業者が好き勝手に改造をしていたというケースがあった。このようなことは発生しないようにしたい。
- ・活用の際には、歴史的な遺産であることをふまえたコンテンツの提供ができるとよい。当時のメニューを再現することや「鉄道と食文化」というコンセプトでお弁当等を提供すること、当時の資料を紹介する等、様々な面白いアイデアがあると思う。
- ・古いものを維持管理することについて、以前、建設会社に頼るという形で対応した経験がある。市が何もかも費用を出して作るのではなく、そのような形でのものの作り方もあわせて検討してもらいたい。
- ・市においては、ただ指定管理者に委託するだけではなく、積極的に市から働きかけていく必要がある（「鉄道の〇〇記念」という形で働きかけると、駅弁を特別価格で提供してくれるという話を聞いたことがある）。
- ・指定管理者にすべてお任せではなく、市の所管部署と指定管理者が協力しながら情報共有を行い、積極的に働きかけていく必要がある。協力いただける企業や団体を探して応援団になっていただくことは望ましいことである。

《以下委員からの質問と事務局の回答》

- ・サウンディング調査の参加者はどのような業者なのか。
⇒市外の指定管理事業者、施設管理事業者、飲食事業者が参加した。
- ・クラウドファンディングをしていたが、今回寄附はあったのか。
寄附した人の名前がどこかに載ることで自分も事業に参加しているということが分かったほうがよいと思う。

⇒今回寄附はあったが、寄附した方のお名前がどこかに載るのではなく市からお礼のメールをお送りした。寄附いただいた方の名前を残すことについては、どこに名前を残すのか（ホームページ上や銅板等）、様々なやり方があると思うので、今後の検討課題とする。

- ・ピアノや椅子等、車両の中にあるものはすべて譲り受けるのか。
⇒そのままの状態で譲り受け、修復したうえでどう保存活用していくか考えていく。
- ・11月、12月の車両搬出入について進捗を確認したい。
⇒工事の入札が一度不調になったことにより、工事着工自体が後ろ倒しになった。当初は11月に車両の搬出入をする予定だったが、年明けに搬出入をするスケジュールで進めている。オープン時期は令和8年2月で変更なし。
- ・本委員会においては、オープンした後にどう保存活用するかについて検討するのか、あるいは、修復内容等についても検討するのか検討範囲を確認したい。
⇒鉄道車両の修復・保存・活用に関して本委員会でご意見をいただきたい。また、活用方法が決まった後には、保存会やファンクラブ等もできると思うので、この点についてもご意見をいただきたいと思っている。

(9) その他

事務局から次回日程について報告をして閉会となった。

以上